

目次

はじめに	1
------	---

第 I 部 危機を乗り越え豊かな未来へ

第 1 章 現在直面する危機と過去の危機	4
第 1 節 現在直面する危機	4
1 新型コロナウイルス感染症	4
2 災害の激甚化・頻発化	20
第 2 節 過去の危機と変化	25
第 2 章 危機による変化の加速と課題等の顕在化	35
第 1 節 社会の存続基盤の維持困難化	35
1 公共交通への深刻な影響	35
2 観光業への深刻な影響	40
3 地域の生活サービスの維持困難化	43
第 2 節 災害リスクの増大や老朽化インフラの増加	45
1 社会資本の老朽化	45
2 近年顕在化した課題	45
3 令和2年7月豪雨により顕在化した課題	48
4 防災に関する国民意識	49
第 3 節 多様化を支える社会への変革の遅れ	54
1 多様化の進展	54
2 世界各国との比較	57
3 コロナ禍による変化	60
4 多様化の支援・促進の重要性	64
第 4 節 デジタルトランスフォーメーション(DX)の遅れと成長の停滞	66
1 人口減少・高齢化と経済成長の停滞	66
2 DXの重要性と我が国におけるDXの現状	69
3 コロナ禍による変化	70
4 DXに対する国民意識	72
第 5 節 地球温暖化の進行	73
1 これまでの取り組みと現状	73
2 近年の変化と課題	76
3 地球温暖化対策についての国民の意識	78
4 地球温暖化の影響	79
第 3 章 豊かな未来の実現に向けて	80
第 1 節 危機による変化と課題への対応	80
1 社会の存続基盤の持続可能性確保	80
2 災害リスクの増大や老朽化インフラの増加への対応	91
3 多様化への対応	98
4 DXの推進等による成長の実現	105
5 地球温暖化対策の推進	122
第 2 節 豊かな未来の姿	133
1 持続可能で暮らしやすい社会	133
2 災害からいのちとくらしが守られる社会	134
3 一人一人が望む生き方を実現できる社会	135
4 成長が持続しゆとりを得られる社会	136
5 地球環境の保全に貢献する社会	137

第Ⅱ部 国土交通行政の動向

第1章 東日本大震災からの復旧・復興に向けた取組み	148
第1節 復旧・復興の現状と対応策	148
第2節 福島の復興・再生等	149
第3節 インフラ・交通の着実な復旧・復興	149
第4節 復興まちづくりの推進・居住の安定の確保	151
第5節 地域公共交通の確保と観光振興	152
第6節 復興事業の円滑な施工の確保	152
第7節 東日本大震災を教訓とした津波防災地域づくり	153
第2章 時代の要請にこたえた国土交通行政の展開	154
第1節 国土政策の推進	154
第2節 社会資本の老朽化対策等	155
第3節 社会資本整備の推進	157
第4節 交通政策の推進	161
1 交通政策基本法に基づく政策展開	161
2 持続可能な地域旅客運送サービスの提供の確保に資する取組みの推進	162
3 MaaS等新たなモビリティサービスの推進	163
4 総合的な物流政策の推進	165
第5節 観光政策の推進	166
1 「明日の日本を支える観光ビジョン」の着実な推進	166
第6節 海洋政策（海洋立国）の推進	167
1 海洋基本計画の着実な推進	167
2 我が国の海洋権益の保全	168
第7節 海洋の安全・秩序の確保	170
第8節 水循環政策の推進	174
1 水循環基本法に基づく政策展開	174
2 流域マネジメントの推進	175
第9節 土地政策の推進	176
第10節 自転車活用政策の推進	177
1 自転車活用推進法に基づく自転車活用推進計画の推進	177
2 安全で快適な自転車利用環境の創出	179
3 サイクリング環境向上によるサイクルツーリズムの推進	179
第11節 デジタル化による高度化・効率化	179
1 i-Constructionの推進～建設現場の生産性向上～	179
2 国土交通行政のDX	181
第12節 公共工事の品質確保と担い手の確保・育成	181
第13節 新たな国と地方、民間との関係の構築	183
1 官民連携等の推進	183
第14節 政策評価・事業評価・対話型行政	184
1 政策評価の推進	184
2 事業評価の実施	184
3 国民に開かれた行政運営と対話型行政の推進	184
第15節 東京2020大会開催に向けた取組み	185
第3章 観光先進国の実現と美しい国づくり	186
第1節 観光をめぐる動向	186
1 観光立国の意義	186

2 観光の現状	186	3 すべての旅行者が、ストレスなく快適に観光を満喫できる環境に	192
第2節 観光先進国の実現に向けた取組み	188	第3節 良好な景観形成等美しい国づくり	197
1 観光資源の魅力を極め、地方創生の礎に	188	1 良好な景観の形成	197
2 観光産業を革新し、国際競争力を高め、我が国の基幹産業に	190	2 自然・歴史や文化を活かした地域づくり	198
第4章 地域活性化の推進	201		
第1節 地方創生・地域活性化に向けた取組み	201	6 地域の連携・交流の促進	213
第2節 地域活性化を支える施策の推進	201	7 地域の移動手段の確保	215
1 地域や民間の自主性・裁量性を高めるための取組み	201	第3節 民間都市開発等の推進	217
2 新型コロナ危機を契機としたまちづくりの方向性の検討	203	1 民間都市開発の推進	217
3 コンパクトシティの実現に向けた総合的取組み	205	2 国家戦略特区の取組み	218
4 地域特性を活かしたまちづくり・基盤整備	205	第4節 特定地域振興対策の推進	218
5 広域ブロックの自立・活性化と地域・国土づくり	210	1 豪雪地帯対策	218
		2 離島振興	218
		3 奄美群島・小笠原諸島の振興開発	218
		4 半島振興	219
		第5節 北海道総合開発の推進	219
		1 北海道総合開発計画の推進	219
		2 特色ある地域・文化の振興	222
第5章 心地よい生活空間の創生	225		
第1節 豊かな住生活の実現	225	1 緑豊かな都市環境の形成	229
1 住生活の安定の確保及び向上の促進	225	2 歩行者・自転車優先の道づくりの推進	230
2 良好な宅地の供給及び活用	228	第3節 利便性の高い交通の実現	233
第2節 快適な生活環境の実現	229		
第6章 競争力のある経済社会の構築	235		
第1節 交通ネットワークの整備	235	2 国内における効率的・持続的な物流システムの構築のための施策	252
1 幹線道路ネットワークの整備	235	第3節 産業の活性化	254
2 幹線鉄道ネットワークの整備	238	1 鉄道関連産業の動向と施策	254
3 航空ネットワークの整備	240	2 自動車運送事業等の動向と施策	256
4 空港への交通アクセス強化	246	3 海事産業の動向と施策	260
第2節 総合的・一体的な物流施策の推進	246	4 航空事業の動向と施策	267
1 グローバル・サプライチェーンの深化に対応した物流施策の推進	246	5 貨物利用運送事業の動向と施策	268

6 倉庫業の動向と施策	268	8 不動産業の動向と施策	268
7 トラックターミナル事業の動向と施策	268	9 持続可能な建設産業の構築	271
第7章 安全・安心社会の構築 276			
第1節 ユニバーサル社会の実現	276	2 鉄軌道交通における安全対策	323
1 ユニバーサルデザインの考え方を踏まえたバリアフリー化の実現	276	3 海上交通における安全対策	325
2 少子化社会の子育て環境づくり	278	4 航空交通における安全対策	329
3 高齢社会への対応	279	5 航空、鉄道、船舶事故等における原因究明と事故等防止	332
4 歩行者移動支援の推進	280	6 公共交通における事故による被害者・家族等への支援	334
第2節 自然災害対策	280	7 道路交通における安全対策	334
1 防災減災が主流となる社会の実現	280	第5節 危機管理・安全保障対策	342
2 災害に強い安全な国土づくり・危機管理に備えた体制の充実強化	289	1 犯罪・テロ対策等の推進	342
3 災害に強い交通体系の確保	317	2 事故災害への対応体制の確立	346
第3節 建築物の安全性確保	320	3 海上における治安の確保	347
第4節 交通分野における安全対策の強化	321	4 安全保障と国民の生命・財産の保護	348
1 運輸事業者における安全管理体制の構築・改善	321	5 重篤な感染症及び影響の大きい家畜伝染病対策	348
第8章 美しく良好な環境の保全と創造 351			
第1節 地球温暖化対策の推進	351	3 海岸・沿岸域の環境の整備と保全	369
1 地球温暖化対策の実施等	351	4 港湾行政のグリーン化	369
2 地球温暖化対策（緩和策）の推進	352	5 道路の緑化・自然環境対策等の推進	371
3 再生可能エネルギー等の利活用の推進	358	第4節 健全な水循環の維持又は回復	371
4 地球温暖化対策（適応策）の推進	362	1 水の恵みを将来にわたって享受できる社会を目指して	371
第2節 循環型社会の形成促進	362	2 水環境改善への取組み	371
1 建設リサイクル等の推進	362	3 水をはぐくむ・水を上手に使う	373
2 循環資源物流システムの構築	364	4 下水道整備の推進による快適な生活の実現	375
3 自動車・船舶のリサイクル	365	第5節 海洋環境等の保全	379
4 グリーン調達に基づく取組み	366	第6節 大気汚染・騒音の防止等による生活環境の改善	382
5 木材利用の推進	366	1 道路交通環境問題への対応	382
第3節 豊かで美しい自然環境を保全・再生する国土づくり	367	2 空港と周辺地域の環境対策	383
1 生物多様性の保全のための取組み	367		
2 豊かで美しい河川環境の形成	367		

3	鉄道騒音対策	383	第7節	地球環境の観測・監視・予測	385
4	ヒートアイランド対策	384	1	地球環境の観測・監視	385
5	シックハウス等への対応	384	2	地球環境の予測・研究	388
6	建設施工における環境対策	385	3	地球規模の測地観測の推進	388
第9章 戦略的国際展開と国際貢献の強化					389
第1節	インフラシステム海外展開の促進	389	1	経済連携における取組み	398
1	政府全体の方向性	389	2	国際機関等への貢献と戦略的活用	399
2	国土交通省における取組み	389	3	各分野における多国間・二国間国際交 渉・連携の取組み	403
第2節	国際交渉・連携等の推進	398	第3節	国際標準化に向けた取組み	407
第10章 ICTの利活用及び技術研究開発の推進					410
第1節	ICTの利活用による国土交通分野の イノベーションの推進	410	10	スマートシティの推進	418
1	ITSの推進	410	11	国土交通データプラットフォーム	419
2	自動運転の実現	411	第2節	技術研究開発の推進	419
3	地理空間情報を高度に活用する社会の 実現	413	1	技術政策における技術研究開発の位置 づけと総合的な推進	419
4	電子政府の実現	415	2	公共事業における新技術の活用・普及 の推進	421
5	公共施設管理用光ファイバ及びその収 容空間等の整備・開放	415	第3節	建設マネジメント（管理）技術の向 上	422
6	ICTの利活用による高度な水管理・水 防災	416	1	公共工事における積算技術の充実	422
7	オープンデータ化の推進	416	2	BIM/CIMの取組み	422
8	ビッグデータの活用	417	第4節	建設機械・機械設備に関する技術開 発等	423
9	気象データを活用したビジネスにおけ る生産性向上の取組み	417			

コラム

- タクシー運転手さんが買い物を代行してくれる「ご近所さんタクシー」株式会社未来都 18
- 3.11から10年、その経験や教訓を未来へ伝える 32
- "I'm home! Tokamachi" 十日町市への移住者が多い理由とは？ 85
- 地下室のある暮らし～マルチシェルター～ 99
- 旅行に行かずに旅行に行く！？～オンライン観光の可能性～（まいまい京都様、FUJITAYA KYOTO様、阿寒バス株式会社様へお話を聞いてきました！） 108
- MaaSで感染症対策と公共交通利用を両立！～「十勝MaaSプロジェクト」～ 113
- 3D都市モデルが新しい世界を創る—Project PLATEAU（プラトー）の取組 118
- 日本初！再生可能エネルギー100%の通勤電車 124
- 人・地域・地球にやさしいサッカー観戦～ファジウォーカープロジェクト～ 131
- 日本の幸福度はどれぐらい？ 138
- ストック効果最大化を目指して 158
- 2040年、道路の景色が変わる～人々の幸せにつながる道路～ 160
- "海のドローン"の活躍を目指して 168
- 緊迫感が増している尖閣諸島周辺海域 171
- 無操縦者航空機の飛行実証について 173
- インフラに来て見て学んで楽しむ「インフラツーリズム」 188
- 付けるだけじゃない！ 図柄入りナンバープレートで地元を活性化しよう！ 213
- 守れ！北海道の生産空間！ ～「道の駅」を活用してトラック輸送を効率化～ 221
- 「ウポポイ（民族共生象徴空間）」開業！～北海道でアイヌ文化に触れてみよう～ 223
- 地域を豊かにする歩行者中心の道へ 232
- 「標準的な運賃」によるトラックドライバーの労働環境改善に向けて 258
- 「住民自らの行動に結びつく水害・土砂災害ハザード・リスク情報共有プロジェクト」～災害を“わがこと”として受け止めてもらうためのメディア連携施策～ 283
- 令和2年7月豪雨でも治水事業が効果を発揮！ 286
- みんなで協力して水災害を防げ！～流域治水プロジェクト～ 287
- 土砂災害リスク情報の明確化に向けた取り組み 297
- 土砂災害対策における最先端の取組み 298
- 気候変動を踏まえた海岸保全対策への転換 302
- 海上保安庁も南海トラフ地震のための監視をしているって本当？ 308
- 『津波フラッグ』による津波警報等の伝達 312
- 被災した鉄道を早期に復旧する取組み 318
- 走錨等に起因する事故ゼロを目指して 328
- 「運輸安全委員会ダイジェスト」で運輸安全情報をわかりやすく学べます 333
- 人・地域・地球にやさしい交通「グリーンスローモビリティ」とは 352
- 洋上風力発電を支える港湾 360
- 下水道での使用済み紙オムツ受入に向けて 378
- 未来に残そう青い海～海上保安庁の海洋環境保全推進活動～ 380
- モーリシャス沿岸における油流出事故への対応 381
- 技術者の国内外での相互活用を促進～「海外インフラプロジェクト・技術者認定・表彰制度」を創設～ 391

■日ASEAN相互協力でスマートシティを実現！～日ASEANスマートシティ・ネットワークハイレベル会合と新たな支援パッケージ“Smart JAMP”～ …… 397

■国連ベクトルタイルツールキットとは？
～世界とともに地図をつくる～ …… 414

インタビュー

■Afterコロナを見据えてビジネスモデルの変換「見える化・最適化・需要創造」と「ハブ&スポーク」により、持続可能なバス事業へ …… 37

■雇用調整助成金とマイクロツーリズムでウィズコロナを乗り越える …… 41

■リアル寡黙なヒーロー 第1回
TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊） …… 52

■最適な交通手段の配置を地域で本気で議論すべき …… 89

■リアル寡黙なヒーロー 第2回
i-Construction …… 106

■「多様性」に寛容な社会は「幸福度」が高い …… 140

■「豊かな」社会の形成に向けて、「多様性」を促進する社会システムづくりを …… 143

※本白書に掲載した我が国の地図は、必ずしも、我が国の領土を包括的に示すものではない。